



Rotary Club of Komatsu City News



ROTARY Club of
KOMATSU CITY
国際ロータリー第2610地区
1998年3月25日創立

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度RIテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」

例会場：〒923-0868 石川県小松市日の出町4-93

ホテルビナリオKOMATSUセントレ2階 毎週月曜日 19:00点鐘

事務所：同上 ホテルビナリオKOMATSUセントレ1F TEL 0761-20-2610 FAX 20-2600

E-Mail: rotarian@sirius.ocn.ne.jp Home-Page: http://www3.ocn.ne.jp/~rotarykc/

2022年2月21日(月) 小松シティRC第1003回例会 当クラブ出席率 57.58% (補正出席率 60.61%)
ゲスト卓話「人生100年時代に積極的に楽しく健康に生きる」

北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授元理事副学長 川上 雄資 様



人生で振られる天のサイ

青少年 壮年 伸びる老熟熟年期

振る自分のサイ
探求、学ぶことが大切

学ぶ機会の増加
生きた証を生かす

勉強・探求・学び

勉強
過去の知識を
習得
規則(論理?)
...トバソバソ?...
ジャンパーとリス目盛が
ついているのはどっち?
林さんの見方は勉強できるが
自分の学び方は違ってよい

学ぶ
自主的な
見方の獲得

「机で読書」が第一歩

林輝幸に学ぶ

探求・学びの大切さ

東京、アメリカに住む大学教授に嫁いだ双子の姉妹の同じ年頃の子に祖父が防水時計を買ってやった。
日本の子は行儀よく礼を言い時計を腕に塾に出かけた。
アメリカの子は礼は言ったが、**時計をいまだ水槽の中に放り込んだ**。母親が「何を考えているの」と聞くと、
子供は「5m防水と書いてあるから、本当かどうか水槽で調べているんだ」とすまして答えた。

学ぶとは、探求により自主的な見方や真実を見つけること。

ボタニカル

朝井まこと

博士は子供の頃から植物採集、標本づくりに興味とし、趣味を一生の仕事とした。
実家を潰すほどの博士の探求・学びのための支援は祖母が黙ってした。
私の母親は牧野博士は独学で植物分類学を極めた人だと教え、勉強は一切口になかった。
私は昆虫をふくむ好きな遊びのために、自分から勉強した。勉強は遊びの一部。
子供に勉強を強制し、知識の詰め込みを図ることは苦痛を与えるだけ。
学ぶ感動を与え、知識を吸収する基礎分析力を身に付けさせることが大切。

人生が瞬間のベストなら

健康な体でベストを尽くしてもいい結果になるとは限らない
自身の気持ちに従ってベストを尽くしていれば、相手がこけることもある

勉強

探求・学び
人生を生きる(研究)
示唆

選んだ学びたいのであれば必要な勉強は自分からする：学ぶ意
自分の見方を確立する
積極的興味を持って生きる
(職業として普遍的真理を追究・発見)
生き様を参考にしてみよう
(研究においては得た真理を他に提供)

自発的学びにより憧憧を現実にする

Hideyo Noguchi (1876-1928)
Thomas Edison (1847-1931)

“Genius is one percent inspiration, ninety-nine percent perspiration.”
学問や技術の世界でも1%の閃きに加え、99%の努力

人生は長丁場 後世への贈物は?

スポーツ選手や一芸に秀でた方は経験、自分の技量を後輩に
普通の人は趣味(子供の時から積極的に身につけた生き様、気持ち、考え方)を通して子供達が健康に積極的に生きる示唆!
心身の健康
薬とたばこは飲まない
酒は適度に飲もう

加賀の暮らし

文化・伝統
金沢は近い、東京も近くなった
自然豊かで、子供の瑞々しい心を持ち続けるにはもってこい

オオムラサキ

小学校でイシガケチョ不思議な地図模様、スミガシの糞に集まる習性、中学校でもミカドアゲハの生態に興味を持ち続けた
図鑑で見ただけのギフチョウオオムラサキなどを見たい!!!
三つ子の魂百まで
子供時代の積極的な興味は趣味として人生の糧

オジロワシ

居そうな場所、時期などに加え、餌の摂りにくさを左右する気象条件など、出現の可能性を総合的探求して撮影を決行

ギフチョウ

ショウジョウバカマが咲く頃山出現し、冬眠から覚めたヒオドシチョウと縄張り争いをする。桜やカタクリでも吸蜜する。
食草:ウスバサイシンカンアオイ
退職後2017年撮影

子供の頃の憧れ、気持ちを実現する喜び

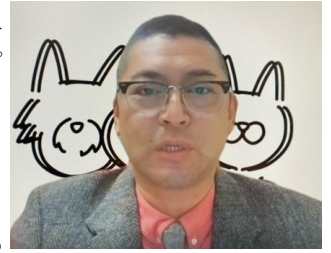
石川で自然生息地の発見 2020
オオムラサキ
アサギマダラ2015

幸せって何だろう

幸せ

【会長挨拶】

冬季オリンピックが昨日で終わりました。日本は史上最高の金3銀6銅9の冬季最多の18個のメダルを獲得しました。今回のオリンピックではスノーボードハーフパイプで平野選手が日本人で初めて金メダルを獲得しました。平野選手は誰よりも高く飛び、誰よりも高難度の技をオリンピックという4年に一度の舞台で繰り出すことにこだわって、見事頂点に立ったわけですが、11歳の頃から既に「オリンピックで金メダルをとる」と発言していたそうです。また、アイススケートで今回連覇の期待がされていた羽生選手は、前人未だの4回転半に挑むことを明言し、実行しました。結果は失敗に終わり、順位も4位となりましたが、羽生選手においても小学校の頃から「誰もやっていないジャンプを成功させる」と言い、その舞台は、2連覇を成し遂げた前回オリンピックの時に今回の北京と決めたそうです。得られた成果は異なり、競技後の会見でのコメントも正反対でした。「努力しても報われないこともあるんだな」という羽生選手の言葉にはむしろ多くの人が共感し、もしかしたら、心のどこかで安心したのではないかと個人的には思います。今回のオリンピックは東京に続き2回目のコロナ渦中での開催ということもあり、選手には多大な制限がかかり。また多くの人々は、お祭り気分というよりも、どちらかといえばネガティブな精神状態で見初めた人が多かったのではないかと思います。しかし連日繰り広げられるアスリートたちの競技の様子や、知られざるこれまでの軌跡を見たり、聞いたりする中で、多くの人が勇気づけられたり元気をもらったりしたと思いました。コロナによって結果的には、1年のうちに2回もオリンピックが開催された意味は戦った選手と見守った私たちには十分にあったのではないかと思います。月並みではありますが、オリンピックを開催してくださった関係機関や選手に感謝し、オリンピックを通じて感じたことをポジティブに受け止め、生活していきたいと思います。最後に、石川県からただ一人アルペンスキー回転に挑んだ小山選手。旗門不通過で失格となってしまいましたが夢だったオリンピックという舞台で果敢に攻めた姿は石川県民の誇りであると感じました。

**【幹事報告】**

- ・配布資料 週報23、24号
- ・第3回ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）開催のご案内
- ・2月定例理事会報告（3月、4月例会について他）

【活動報告】

- ・2/19（土）米山奨学生終了者歓送会（14:00～オンライン）吉田正

「小松シティRC ニコニコボックス ゲスト卓話御礼・その他」

- ・鈴木隆史「川上雄資様、本日は当クラブのリモート例会にて卓話をして下さり、大変有難うございました。盛りだくさんの内容で大変興味深くお話を伺いました。残り50年、元気に生きるためにも本日のお話を参考に健康に留意（飲酒を減らす！）し、益々興味に没頭しようと思います！」
- ・河北和則「本日は北陸先端科学技術大学院大学名誉教授元理事副学長川上雄資様、当クラブにご訪問誠に有難うございます。人生100年時代において学びの大切さをご指導頂き、自分自身の人生を省みる良いきっかけとなりました。私の勤務先の会社もフランスにワイナリーを経営しておりますので、ボルドーワインを学びたいと思いました。あと昆虫や野鳥の動画本当素晴らしいです！是非とも撮影機材も教えて下さいませ！人生の本当の幸せをみつきたいです！」
- ・鈴木裕文「川上先生、本日は卓話有難うございます。今年もお互いに元気でゴルフ楽しみましょう。いつもお世話感謝しております。」
- ・杉本隆「川上雄資様、本日はお忙しい中当クラブでの卓話有難うございました。「人生100年時代に積極的に楽しく健康に生きる」大変勉強になりました。益々のご活躍をお祈り申し上げます。」

（順不同・敬称略）

【編集】 会報広報委員会